

スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2018年 夏号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245

E-mail:sato@sendai-komei.jp URL <http://www.sato-kazuko.net>



あした
あなたの未来に笑顔と元気を!

一人の声を大切に! 100万人の笑顔のために!

6月に発生した大阪北部地震、7月の西日本豪雨により犠牲となられた方々に、心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに被災されたすべての皆さまにお見舞い申し上げます。

この度、第2回定例会での一般質問や日頃の議員活動のご報告として「さとう和子スマイル通信夏号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。

仙台市は、東日本大震災の教訓を踏まえ、本年3月策定した「仙台市災害時応援計画」により応援職員の派遣など被災自治体へ支援をしております。近年の甚大な災害で浮き彫りとなる課題に対して、地域住民の命を守る防災・減災の取り組みの強化が求められており、今後も全力で取り組んでまいります。

2018年8月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

■聴覚障がいの教員等への支援強化と環境改善を求めました!

(平成30年6月18日一般質問)

質問: 市教育センターで実施している教員研修会で手話通訳者の配置がされなかったことについて。

答弁: 学校から教育センターへの情報の伝達が十分になされず、配慮、対応に欠けていた。今後、教員の要望をこれまで以上に丁寧に把握し、研修などの目的が達成できるよう必要な支援を行ってまいります。

質問: 情報を伝えたり、コミュニケーションを取る手段として有効な「UDトーク」の活用について、教員、特別支援学校や難聴学級の児童生徒へ導入すべき。

答弁: 学校教育で活用する際には、モニターに表示される文字のスピードや漢字のレベルなど、対象児童生徒の発達段階や障害の状況等を踏まえる必要がある。教員に対する使用は、業務として十分に活用できるか見極める必要があることから、引き続き検討してまいります。



「UDトーク」とは、コミュニケーションを支援するアプリで音声で発した内容を文字としてタブレットの画面に表示するもの。

●今年度から「UDトーク」が各区役所の障害高齢課、宮城総合支所の保健福祉課相談窓口に導入されました。ご活用ください。

※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。(無料)



◆いづみ墓園内に安価な合葬式納骨堂の整備について

質問： 仙台市民のお墓に関する意識・実態等を把握するため、20歳～60歳代の仙台市在住の市民、各区200人ずつ、計1,000人を対象に訪問によるアンケート調査を実施した。この調査で、しょうけいしゃ承継者がいなくても購入できる安価な納骨堂の取得の有無を尋ねたところ、39.5%が「希望する」との回答であった。市民の多様なニーズに対して選択肢を提供することはもちろんのこと、公平・公共性の観点から、比較的安価で市民の誰もが利用できる墓地を提供することが重要である。それが、市営墓地に期待される役割ではないか。整備の方向で検討すべき。

答弁： 市民ニーズの変化に対応し、今年度、他都市事例の実地調査やアンケート調査を実施してまいりたい。また、他都市の同様の種別の墓所について、使用料の設定や運営状況などを調査しながら検討を進めてまいりたい。



平成30年4月に整備された横浜市の「日野こもれび納骨堂」

◆慢性腎臓病対策について

- 新規透析者を減らす取り組みである受診勧奨かんしょうの推進
- 糖尿病性腎症重症化予防の取り組みとして、第1期の腎症前期と第2期の早期腎症期の初期段階を受診勧奨の対象にすべき。

◆◆予算等審査特別委員会◆◆

(平成30年5月31日)

平成30年第1回定例会において、閉会中継続審査とされた「第60号議案 仙台市乗合自動車運賃条例の一部を改正する条例」(市交通局の通学定期券「学都仙台市バス・地下鉄フリーパス」の市バス運賃値上げについて)審査するため、会派を代表し質疑しました。

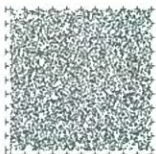


◆主な質問項目

質問： 宮城交通バスのみ運行している地域では、学都仙台フリーパスは利用できないため不公平さを感じている。交通費の就学支援を考えてはいかがか。

市長答弁： 実現に向けては、対象者、学都仙台フリーパスとの関係など整理する課題もある。財源の確保も必要。どのような施策が可能なのか、様々検討してまいりたい。

質問： 平成18年から進めてきたバス運転業務等の民間委託は現在50%である。年間9億4千万円の縮減で経営改善に大きな効果がある。今後も可能な限り検討し進めていただきたい。



◇◇ 皆さまの声をカタチにしました! (実績抜粋) ◇◇

- 上野山3丁目7付近の一時停止の再設置
- 芦の口18付近に一時停止の標識設置



- 桜木町38付近の雨水対策のため道路舗装と老朽化による側溝の改善



- 国道286号線の長町中学校交差点に時差式信号と右折レーンが設置され4月9日に共用開始となりました。



- 八木山南小学校通学路である郡山折立線(西高校入口交差点付近)の歩道の安全対策



- 平成27年の関東・東北豪雨災害で崩れた秋保町長袋の大柴沢の護岸工事が完了



- 地下鉄東西線の八木山動物公園駅整備に伴い、信号機設置を含む道路改良や交通量が増加したため、「八木山市民センターへ下りる道路から右折ができない」とのお声が寄せられました。安全に通行できるように路面表示しました。



- おおとやまち 大塙町27付近のカーブミラーの位置を改善
- 茂庭字立石付近の街路灯2基設置



- 西多賀2丁目9付近の市有林の樹木剪定
- 鉤取2丁目の後田公園の樹木の伐採



地域の足の確保に向けた取り組みを支援します!

～みんなで作ろう地域交通スタート支援事業～

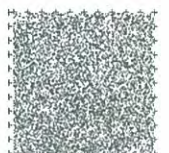
このようなお困りごとの解決に向け、みなさまで地域の足の確保を考えてみませんか?



仙台市

■ 地域交通のガイドラインができました!

仙台市は平成30年度から、「みんなで作ろう地域交通スタート支援事業」を開始しました。地域住民が主体となって地域の足の確保に向けた取り組みに対して、運行計画策定の支援や試験運行・実証運行にかかる経費の一部を助成する支援制度です。今後も少子高齢化社会の中、いかに市民の足を確保していくか、実情に即した交通形態などについて調査し取り組んでまいります。



※音声コードUni-Voiceは視覚障害者の方のための「文章読み上げ装置」用のコードです。装置は、仙台市内各区役所に設置してあります。スマートフォンにも対応しており、iOS/Android用のアプリを公開しています。(無料)

視察・活動

- 公明党仙台市議団は郡仙台市長に「登下校の児童・生徒に対する安全対策に関する緊急要望書」を提出しました。

子どもを犯罪から守るため、①通学路等で死角となりやすい場所の点検強化②防犯カメラ設置補助事業の更なる拡充と周知など5項目の安全対策を要望しました。(6月4日)



- 仙台市天文台展示リニューアル内覧会参加 (3月29日・青葉区)

- 秋保工芸の里30周年記念事業 秋保文化の里センター展パネルディスカッションに参加 (4月21日・秋保町)

- 羽生結弦選手の「2連覇おめでとう」パレード参加 (4月22日・青葉区)



- 宮城県防災ヘリコプター管理事務所並びに仙台市消防航空隊庁舎開所式参加 (4月27日・岩沼市)



- 「不育症こころのセミナー」に参加
「あきらめない、妊娠と出産 最先端治療とメンタルケア」と題して、名古屋市立大学不育症研究センター 杉浦真弓センター長の講演 (5月12日・若林区)

- 仙台市・川崎町広域行政連絡協議会 平成30年度総会参加 (5月18日・川崎町)

- 愛知県の待機児童対策・子育て支援と岐阜市の民間委託の「窓口業務」・平成33年度完成予定の新庁舎建設事業の取り組みを視察 (5月22日~23日)

- 政令指定都市初の自動搬送式納骨施設と合葬式納骨施設「日野こもれび納骨堂」視察 (6月5日・横浜市)

- 平成30年度仙台市水防訓練参加 (6月6日・宮城野区)

- 昨年7月にオープンした津波被害があった若林区荒浜の海岸公園パークゴルフ場でパークゴルフ体験会に参加 (6月25日)

- 仙台市児童相談所視察 (6月26日・青葉区)



- 市制施行129周年記念式参加 (7月2日・青葉区)

- 交通政策調査特別委員会で、東北大学未来科学技術共同開発研究センターの近未来交通システムと太白区の坪沼乗合タクシー視察 (7月4日)



- 西日本豪雨の被災地岡山県総社市へ応援職員派遣の出発式に総務財政委員会副委員長として参加 (7月10日・仙台市役所)



- 議会報告会を開催
太白・鹿野・鉤取・緑ヶ丘・秋保・茂庭台地域 8 か所で行いました。 (3月~4月、7月)



7月8日茂庭台市民センター



7月16日秋保市民センター

